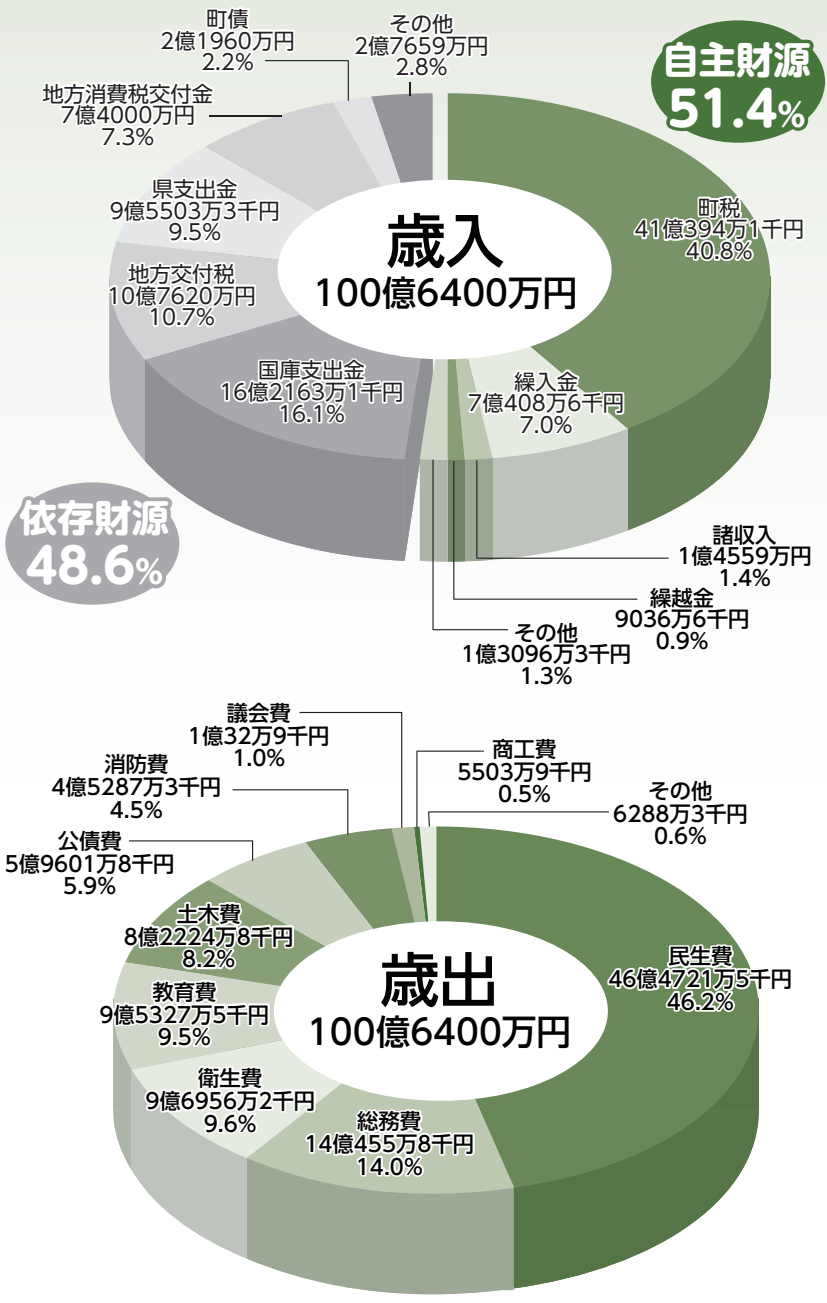


令和5年度当初予算を紹介します

令和5年度の一般会計の予算は、100億6400万円です。
では、その概要を紹介します。



財政用語あれこれ

自主財源

自主的に収入することができる財源です。その他には分担金や負担金などがあります。

依存財源

国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられる財源です。その他には地方譲与税や地方特例交付金があります。

繰入金

財源の不足分を基金などで補うお金

諸収入

他の収入科目に受け入れることのできないお金(延滞金、預金利子、雑入など)

会計名		令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	対前年比率(%)
一般会計		100億6400万円	95億5700万円	105.3%
特別会計	国民健康保険特別会計	28億3945万4千円	27億8758万7千円	101.9%
	土地取得特別会計	1551万1千円	7万6千円	20409.2%
	介護保険特別会計	19億5980万6千円	18億5461万3千円	105.7%
	保険事業勘定	19億5918万2千円	18億3612万円	106.7%
	介護サービス事業勘定	62万4千円	1849万3千円	3.4%
	後期高齢者医療特別会計	7億5591万4千円	7億2266万9千円	104.6%
企業会計	下水事業会計	8億8693万8千円	8億3011万4千円	106.8%
	収益的	3億1492万2千円	3億616万1千円	102.9%
	資本的	5億7201万6千円	5億2395万3千円	109.2%
総合計		165億2162万3千円	157億5205万9千円	104.9%

主な事業と使いみち



議会費

●議会運営費のうち印刷製本費

67万8千円

町民に親しまれる議会、開かれた議会への取り組みのため、議会だよりの発行(4回)を行います。

民生費

●相談支援事業委託料

3032万円

障がい者および障がい児からの障害福祉に関するさまざまな問題について、情報提供や福祉サービスの利用支援等必要な支援を行います。

●子ども医療費

2億779万円

令和5年10月より対象者の年齢を18歳年度末までに拡充し、子どもの健康保持・増進を図るため、医療費の自己負担分を支給します。

●多世代交流事業委託料

37万2千円

子どもから高齢者まで世代を超えた交流の機会を提供するための事業を開催します。

●子育て支援講座事業費のうち講師謝礼

10万円

子育てに関する講座を全5回開催します。

●ペアレントトレーニング委託料

15万円

保護者の方々が子どもとのより良いかわり方を学びながら、日常の子育ての困りごとを解消し、楽しく子育てができるよう支援する保護者向けのプログラムであるペアレントトレーニングを療育が必要な児童の保護者向けに行います。

●出産・子育て応援金

3000万円

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、さまざまなニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯の生活を支援するため、応援金を支給します。

総務費

●まちづくり推進事業費のうち講師謝礼

22万円

SDGsを町全体に浸透させるための講演会やタウンミーティング事業等を行います。

●高齢者安全運転支援装置設置促進事業費補助金

24万円

高齢者の安全運転支援を目的として、ペダル踏み間違い急発進抑制装置の設置に要する経費の一部を補助します。

●自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金

80万円

自転車を利用する児童生徒等および高齢者のヘルメットの着用を促進することを目的として、自転車用ヘルメットの購入費用の一部を補助します。

●防犯対策補助金

95万円

地域および高齢者の防犯対策を推進するため、センサーライト設置、防犯カメラ設置および特殊詐欺対策電話機器等設置に要する経費の一部を補助します。

衛生費

●住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金

150万円

地球温暖化防止施策として、省エネルギー設備の普及促進を図るため、住宅用太陽光発電施設等の住宅用地球温暖化対策設備の設置費の一部を補助します。

●妊産婦・乳児健康診査等委託料

3348万9千円

妊産婦・乳児の健康管理のための健康診査を行います。

●がん検診・肝炎検査等委託料

3554万円

がん等の病気を早期発見、早期治療することを目的に、がん検診・肝炎検査等を行います。

農林水産業費

●農業用施設維持修繕工事

231万7千円

農業経営の安定化を図るため、農業用施設の維持修繕を行います。

商工費

●商工会補助金

513万5千円

商工会が行う商工業の振興等を図るために要する事業費に対しての補助します。

土木費

●河川浚渫

1850万円

河川および用排水路の土砂等を取り除き、流水断面の確保とともに、生活環境の改善を図ります。

●砂子地区基本構想策定業務委託料

1450万円

当地区の将来における土地利活用のニーズを踏まえ、本町の活力を支える土地利用方策を検討し、町として目指すべき将来像を描く基本構想を策定します。

●堀之内砂子線整備事業

4500万円

地域活動や交通の利便性の向上を図ることを目的とした都市計画道路堀之内砂子線を整備します。

●砂子防災公園整備事業

9147万8千円

地域住民の生命を守ることを目的とした災害時における一次避難地として砂子防災公園を整備します。

消防費

●街頭消火器等購入費

448万円

街頭消火器の未設置の地域に対して、新たに町で設置を行います。

●避難所案内看板設置工事

576万4千円

災害発生時におけるブラックアウト対策として、避難所を案内できるようにスポーツセンター、総合福祉センター、公民館の入口にソーラーLED付避難所案内看板を設置します。

●災害対策用備品購入費

818万円

防災体制の充実を図るため、ソーラー蓄電池を購入します。

●備蓄事業費のうち消耗品費

841万9千円

避難生活に必要なアルファ化米、トイレセット等の備蓄品を購入します。

教育費

●民間プール活用授業支援委託料

1995万2千円

水泳の授業の充実を図るため、民間プールを活用し、実技指導を委託します。

●タブレット機器等借上料

小学校費 3132万5千円

中学校費 1439万1千円

ICTを活用した授業を行うため、町内の小中学校の教師用、児童および生徒のタブレットを借上げます。

●子ども・若者支援地域協議会運営費

243万8千円

ニートや引きこもりなど社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者に対して、円滑な社会生活を営むことができるように地域の関係機関がネットワークを形成し、より一層の連携を図るための協議会を運営します。相談窓口業務においては、窓口開設日を週2日開設します。

●町史編さん事業費

225万8千円

現町史発行からおよそ40年が経過したため、町制施行50周年に向け、その後の経過や知見をまとめた増補版の制作に取り組みます。

●公民館講座事業費

137万8千円

教養や趣味等の知識や技術を高められ、なおかつ仲間づくりの機会もできる生涯学習の場を提供するため、公民館講座を開催します。また、シニア世代を対象にした、生きがいづくりに繋がる「シニアいきいき講座」を開催します。

●スポーツセンター講座委託料

548万2千円

スポーツや運動活動への関心を高めるため、幅広い年齢層を対象とした体力づくりや健康づくりを目的とした講座を開催します。

●スポーツセンターリノベーション事業

5000万6千円

スポーツセンターのプール跡地について、昨年度に策定した基本構想を踏まえて、今年度は施設改修に係るワークショップを開催するなど、住民の意見を取り入れながら整備を進めていきます。

町民1人当たりの予算額(一般会計) **30万1453円**

議会費

3005円



総務費

4万2072円



民生費

13万9201円



衛生費

2万9042円



商工費

1649円



土木費

2万4629円



消防費

1万3565円



教育費

2万8554円



公債費

1万7853円



その他

1884円



※令和5年2月末人口の33,385人より算出したものです。また、その他には農林水産業費、諸支出金、予備費が含まれます。